

Braintech Library Report

ブレインテック・ライブラリー・レポート

Vol.8



内外遊戯全書 全15編 博文館, [1899~1900年 (明治32~33年)]. 秩父宮記念スポーツ博物館・図書館

ここにしかない貴重な資料を強みに
OPACで独自コレクションをアピール

秩父宮記念スポーツ博物館・図書館

1人職場なので、サポートスタッフの
提案やフォローがありがたい

学校法人後藤学園 武蔵野栄養専門学校

武蔵野調理師専門学校

専門学校武蔵野ファッションカレッジ

ここにしかない貴重な資料を強みに OPACで独自コレクションをアピール

秩父宮記念スポーツ博物館・図書館

再開館に向けて準備を進めている秩父宮記念スポーツ博物館・図書館に訪問してきました。新館への移転までの間、書庫として使用されている倉庫をご案内いただいた後、司書の山本もと子さん、寺本沙織さん、図書館アドバイザーの巻田徹さんにお話を伺いました。

日本のスポーツ黎明期から収集した 雑誌・図書資料が特色です

——図書館の特色を教えてください。

(山本) 秩父宮記念スポーツ博物館・図書館は、「スポーツの宮様」として親しまれた秩父宮雍仁(やすひと)殿下を記念して、1959年に日本で初めてのスポーツ専門図書館として国立競技場内に開設されました。2014年5月に東京都足立区綾瀬(仮事務所)への移転を経て、2022年4月に千葉県船橋市(仮事務所)に移転しました。閉架式で収蔵機能が主の図書館です。

戦前、戦後のスポーツ競技団体組織や関係者の旧蔵資料が多く、日本のスポーツ黎明期に出版された雑誌・図書資料が特色です。スポーツの歴史に重点を置いて収集してきた資料は、図書、雑誌、パンフレット・プログラム類等の紙・文書類、スポーツ新聞等あり、特にスポーツ雑誌のバックナンバーが充実しています。また、1964年に開催された東京オリンピック関連資料や、国立競技場を会場に行われた各種競技大会関連資料が豊富で、秩父宮にゆかりのある山岳分野の図書や博物館の収蔵品との関連資料も多く所蔵しており、館蔵品の調査・研究に資する役割があります。

——先ほど書庫を見せていただきましたが、膨大な量の資料ですね。

(寺本) 蔵書数は約17万冊で、そのうち雑誌が12.5万冊あります。雑誌では「アサヒ・スポーツ」の利用率がとても高いです。バックナンバーがこれだけ揃っている館は少ないですね。

ほかにも貴重な資料がたくさんありますので、まずは当館にあるということを知ってもらうために全資料のOPAC公開を目指しています。しかし、整備すべき対象資料は膨大です。既存資料に加え、オリンピックやワールドカップ

など、毎年のように大規模なスポーツ競技大会が開催されることもあり、大会報告書などの収集すべき資料は年間2千冊の単位で増えていきます。新規に受け入れる資料登録も行いながら遡及登録を着実に進めることが課題です。

現在は再開館に向けての準備期間と考え、ここ数年は外部委託も行い、腰を据えてデータ作成と装備に取り組んでいるところです。



アサヒ・スポーツ=The Asahi sports 朝日新聞社,1923-1956年

(山本) 全資料のデータ整備となるとかなりの労力が必要ですので、まずは当館の特色にもなっているエフェメラのOPAC公開を進めようということになり、昨年は約700件を整備しました。

エフェメラには強い思い入れが

——エフェメラとはどういったものでしょうか。

(山本) エフェメラは長期の保存を前提とせずに発行された様々な紙資料で、“はかないもの”という意味もあるそうです。形状もばらばらで、データ作成も装備も大変ですが、他館ではほぼ所蔵されていない資料ですので、研究者にとっては貴重なものになります。例えば札幌オリンピックの臨時運行バス時刻表といったものなどもあります。



秩父宮記念スポーツ博物館・図書館
 〒273-8733
 千葉県船橋市西浦2-5-3
<https://www.jpnsport.go.jp/muse/>

1964年の東京オリンピックでは、大会終了後に廃棄処分されそうだった紙資料を当時の司書が廃棄寸前に救出したという逸話も残っています。そういうこともあり、代々エフェメラの収集には熱心なんです。

当館ではエフェメラは図書として登録をしているのですが、そのままでは他の資料に埋もれてしまうので、なるべく多くの人の目に止まるよう、OPACではブックリスト機能を利用してまとまった資料群として公開しています。



——貴重な資料もたくさんあり、宝の山ですね。資料データ作成にあたり、特に工夫をされていることはありますか？

(巻田) 「情報館」では資料データ項目の名称を自由に編集できるので、競技大会報告書や大会関連資料については、「大会情報」という独自の項目を設けて会期会場、開催年、開催国、開催都市などを登録し、独自コレクションの構築に向けた目録整備を行っています。

東京2020オリンピックでは新型コロナ感染拡大の影響で開催が1年延期になりましたが、延期決定の前後で、紙面の論調が変わっているように感じます。どの時期に発行された資料なのかがすぐにわかるように、延期決定前に発行された資料には「SLSH:東京2020大会延期決定前資料」と独自の件名を登録しています。

資料保存の観点から IC タグを採用

——資料にはICタグが装備されていますね。

(山本) もともとバーコードラベルも何も貼られていなかったのですが、やはり管理上の必要性から何らかの番号管理をしようということで、2020年からUHF帯RFIDを採用しています。

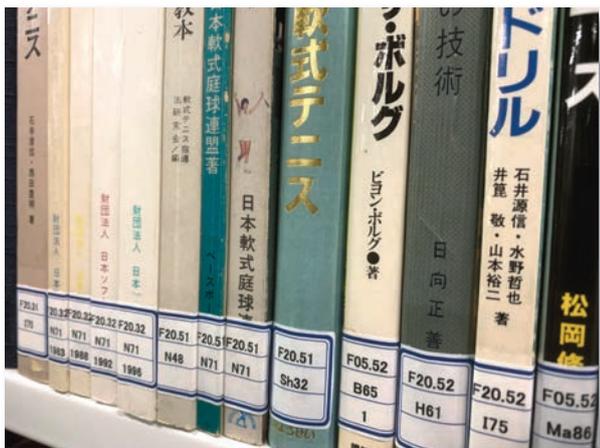


バーコード一体型 IC タグ

当館の蔵書は博物館資料でもあるので、見た目を損なわないようラベル類は資料の内側に貼ることが前提だったのですが、そうすると資料を探す時に不便なので、内側に貼っても機能するICタグが良いのではないかと。タグ貼付に関しても、資料保存の観点から直接資料に貼るのではなく、ICタグを貼付した中性紙を資料のノドにはさみこむようにして糊付けしています。貼付作業の際には、実作業を含めブレインテックさんにもいろいろと協力してもらいました。ありがとうございました。

—ICタグはどのように活用されているのでしょうか？

(寺本) ICタグリーダーには探索モードという設定があり、資料の登録番号を入力して書棚にかざすと所在を音で知らせてくれます。主に蔵書点検で不明資料を探すのに使用する機能ですが、これが出納の際に役立っています。膨大な資料の中から目的の1冊を探することができるので便利です。おおまかな配架場所がわかっているならば、実は分類順に並んでいなくてもよく、資料の状態に合わせて、湿度管理が必要なデリケートな資料は別の場所に保管するといったことも可能ではないかと考えています。



(巻田) 秩父宮記念スポーツ博物館・図書館では開館当初から代々伝わる独自のスポーツ分類が使用されています。あらゆる競技を細かく分類していて、これ自体が研究対象にもなりそうな貴重なものです。ですが、時代が進んで競技も変わってきていますし、実務で使っていると、もう少しシンプルなほうが使いやすいように思うこともあります。むしろ利用者がOPACで資料を探す際に、細かすぎる分類よりはシンプルな分類のほうが類書を見つけやすいかもしれません。既存のスポーツ分類を尊重しつつ、小数点以下の桁数をどこまで採用するかといった付与ルールを見直すことで、より使いやすくなるのではないかと話しているところです。

「にぎわいのある図書館」を目指してアピール

—ブレインテックとのお付き合いは2003年ごろからでした。もう20年になりますね。長くご利用いただきありがとうございます。

(寺本) 最初は蔵書データ公開サービスの「Jopac」導入からだったようです。「情報館」は2005年の「情報館 mini」からはじまり、何度かバージョンアップを繰り返して今に至っています。近年はデータ整備のスピードアップ

を計るため、端末台数を増やし、NACSISへの所蔵登録に「BT-CATP/AUTO」を使用しています。

サポート窓口にはメールで質問することが多いのですが、最近ではチャットでの問い合わせができるようになったのですね。活用してみます。

—再開館が計画されていますが、どんな図書館になるのか楽しみです。



(山本) 来館された方が気軽にスポーツについて知ることができる、にぎわいのある施設になるといいなと思っています。再開館に向けてアドバイザーの巻田さんを交え、スタッフ一同で準備を進めつつ、今後も引き続き当館を知ってもらうことが一番だろうということで、いろいろな場面で存在をアピールできればと考えています。所蔵資料が一番の特色ですので、OPACを活用することで利用者に向けたアピールを継続していきたいと思っています。

—弊社のOPACをご活用いただけるとのこと、ありがとうございます。再開館の際にはぜひ訪問させてもらいます。本日はありがとうございました。

システム構成	基本システム3台(ワークグループ)、BT-CATP/CAT・ILL・AUTO、OPACサービス(プレミアム版)
蔵書数	図書3.3万冊、雑誌1,200タイトル(各号12.5万冊)、エフェメラ9千点、新聞732箱
導入年	2005年

1人職場なので、サポートスタッフの 提案やフォローがありがたい

学校法人後藤学園 武蔵野栄養専門学校
武蔵野調理師専門学校
専門学校武蔵野ファッションカレッジ

いつも多くの人で賑わう池袋駅の東口からほど近い場所にある、学校法人後藤学園。学園が擁する3つの専門学校の共有施設である図書室を訪ね、2004年の開設時から勤務されている司書の壬生理恵子さんにお話を伺いました。



学生のうちから 最新の情報に触れられるように

—ここは、3校の学生が利用する図書室なのですね。

はい。もともとは武蔵野栄養専門学校、武蔵野調理師専門学校、専門学校武蔵野ファッションカレッジ（それぞれ以下、「栄養」、「調理」、「ファッション」）の3校それぞれで管理していた本を、校舎の建て替えを機に1つに集め、この図書室ができました。その時に常勤の司書を置くことになり私が採用され、情報館もこの時導入しました。

現在の利用者は3校合わせて学生が約950人、教職員が100人余りです。他に卒業生も利用することができますので、卒業して現場に出てからも調べものをするために来る方もいます。

—蔵書について教えてください。

蔵書は約14,000冊で、NDCを使っています。全体の約半分が家政学系の5類（技術・工学）、次に多いのが全体の2割を占める4類（自然科学）です。

調理とファッションの分野は洋書も収集していて、英語

とフランス語が中心ですが、読むというよりビジュアルとして見て面白いものなどを入れています。また、第一線で活躍するシェフにも海外の雑誌を参考にしている方が多いそうなので、学生にもそういった最新の情報をいち早く届けてあげたいと思い、調理関係の洋雑誌をフランスから2誌取り寄せています。余談ですが、雑誌は各号の内容細目に記事データを入力しているのですが、これらの洋雑誌ではよく「AZUKI」とか「TAIYAKI」といった日本の食材や料理の名前が出てくるんですよ（笑）。

—3校それぞれの専門分野があるので、選書が大変そうですね。

ファッションはもちろんなのですが、調理の本でも盛り付け方などにトレンドがあり、やはり新しい本の方が学生の受けがよいので、入れ替えなども考えていかないと考えています。また、献立を作る課題はよく出されるのですが、「調理」ではハレの日の食事で、「栄養」は疾患別の食事療法や年代別の献立といった日々の食事の献立なので、同じ献立でもちょっと違います。配架上も、管理栄養士が書いた献立の本を取って5類の料理ではなく4類の栄養学や食事療法に近いところに入れることもあります。

—なるほど。その方がそれぞれの学生さんが探しやすそうですね。

あとは、「ファッション」の授業では、デザインの課題で「日本美術をテーマにして」とか「自然をテーマにして」といったものが出たりするので、デザインのソースになるように色々な分野の本をまんべんなく集めています。広く浅くになるので、どういったものを入れるか匙加減が難しいのですが、また、高校時代まで図書館に慣れ親しん



学校法人後藤学園 図書室
 武蔵野栄養専門学校
 武蔵野調理師専門学校
 専門学校武蔵野ファッションカレッジ
 〒171-0022
 東京都豊島区南池袋 3-12-5
<https://www.goto.ac.jp/>

できた学生からは読み物や小説なども求められるので、そうしたものも、数は少ないですが置いています。

——学生さんは図書室をどう利用していますか？

今は夏休み期間なので課題にとりかかっている学生が多いですが、普段ですとWi-Fiを目当てに来室してスマホのゲームをしたり、ちょっとぼんやりしたり。居場所として使っている学生もいます。夏休みが終わると「栄養」の学生は12月の実力認定試験に向けて勉強に来るようになると思います。

Wi-Fiは何年か前から導入していましたが、就職活動で「Web就活コーナー」を使うようになったこともあり、より安定して使えるよう昨年の夏に新しくしたところです。

——最近、Wi-Fi以外にも色々リニューアルされたとか。

以前は可動式の書架を導入していたのですが、部品供給が終わってしまい故障も多くなったので入れ替えることになり、現在の固定式の書架に変更しました。固定式になった分、閲覧席を減らして書架を置きましたが、以前と違い書架に並んだ本が全部見渡せるようになりました。探しやすくなったのではないかと思いますし、配架も色々工夫ができるようになりました。

他にも、閲覧席が狭くなることに合わせてカウンターに置くパソコンをデスクトップからノートに変えたり、閲覧席に電源コンセントを増設したりと、この春は大忙しでした。Wi-Fi同様、電源サービスも学生に喜ばれています。

展示を通して、 「人」と「人」も結ぶ図書室に

——書架のところどころに、展示がありますね。

書架が固定式に変わったことに伴い、今年度からは常設

展示を少しずつ作っています。ひとつは「教員文庫」です。まだ始めたばかりですが、教員の「推し本」の展示で、先生たちにコメントも書いてもらって本と一緒に展示しています。専門分野に関係する本だけでなく、自身が興味を持っている分野のことも書いてくれているので、先生の人柄を知ることができます。こうした展示を通して、図書室が本と人を結ぶだけでなく、人と人を結ぶこともできればと思っています。



もう一つは、図書室の入り口付近のゲームと本と一緒に展示しているコーナーです。もともとここは食材別の献立ということで596.33、35（肉料理、魚料理）の本を置いていたのですが、入り口付近だということもあり、もうちょっと工夫したいと思っていました。



先日ある学校図書館の見学に行ったら、牛や豚や鶏の体のパーツを食材の部位別にバラバラにして組み立てることができる「解体パズル」が本と一緒に展示されていたんです。「これだ!」と思って早速真似させてもらうことにしました。解体パズルと表紙を見せた本と一緒に展示したところ、学生の反応も良く、昼休みなどにパズルに挑戦している姿を見かけるようになりました。

新機能が出るとまずは使ってみる

—この春からOPACサービスの利用者ログインオプションもご利用いただいていますね。

はっきりとしたデータがあるわけではないのですが、スマホでOPACを使う人は検索よりブックリストを見て取り置き予約をしてから来室する、来室する人は検索端末で資料検索をしてからその場で書架に本を取りに行く、というそれぞれの流れがあるようです。

—それは興味深い傾向ですね。ブックリストはどんなものを作られていますか？

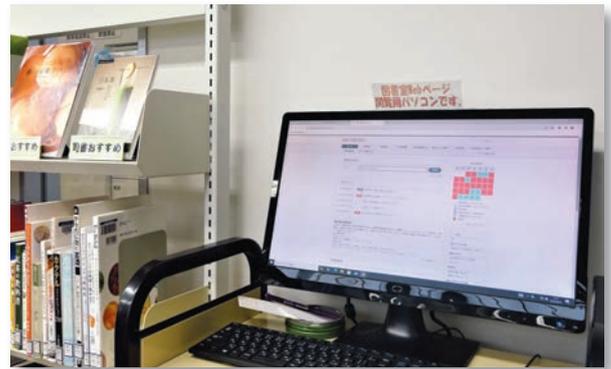
先ほど紹介した常設展示の教員文庫や解体パズルコーナーのほか、授業に関連した本をまとめたものなどを作っています。生化学の分野を難しいと感じる学生が多くレファレンスも多かったので、生化学分野の本の「番付表」を作ったところ、大好評でした。ちょっと変わったところでは、パソコンやWeb就活スペースの設備も情報館に登録し、設備利用状況をブックリストにして公開しています。



—オーソドックスなものからユニークな使い方まで、ブックリスト上級者ですね。先日リリースされたばかりの説明欄に画像(写真)を表示する機能もさっそく使っていますね!

はい、サポートスタッフの方に教えてもらって使ってみました。基本的に、新しいことに挑戦するのは嫌いじゃないので、新機能が出るととりあえずまずは使ってみます。

使ってみた結果、ちょっとすぐには使いこなせないのでもう一度挑戦しよう、となる場合もありますが(笑)



—新しい機能をご案内してすぐに使っていただけるのは、サポートする側としては嬉しいものです。

一人職場ですし、システムに特別詳しいわけではないので、図書館システムを使う上でサポートスタッフの方からの情報や手助けは無くてはならないものです。

こちらが新しくやりたいことや困ったことがある時に相談すると「こうしたらできますよ」「こういうやり方はどうですか?」と親身になって提案やフォローをしてくれるので、本当にありがたいです。

—お話を伺って、壬生様のフットワークの軽さや日々の質問やご要望が、学生さんたちのために図書室をもっと良くしたい、という思いから生まれているということがよくわかりました。これからも壬生様の「これやりたい」を全力でサポートしていきたいと思います。本日はありがとうございました。



システム構成	基本システム 1 台 (スタンドアロン)、OPAC サービス (プレミアム版・利用者ログインオプション)
蔵書数	図書 14,000 冊、雑誌 30 タイトル (各号はバックナンバーを含め 6,230 冊)、新聞 3 紙、電子書籍 68 タイトル (LibrariE)
導入年	2004 年

小規模図書館に必要なもの全部。

～中小規模の図書館に最適なベストセラー図書館システム～



✓ OPACひとつで何役も

資料検索だけでなく、カレンダーやお知らせ機能、ブックリスト機能などを備えたOPACは、アクセシビリティ対応・マルチデバイス(スマホ・タブレット等)対応で、そのまま図書館のホームページとしても利用可能。

✓ デジタル資料公開も OPAC で

OPACで簡易的なデジタルアーカイブの公開が可能。専用システムがなくても自館発行物や貴重資料をPDFや画像データで公開できます。

✓ 蔵書管理だけじゃない。

利用者からの問い合わせを記録・管理できる新機能「レファレンス管理」や、日々の業務を記録できる業務日誌機能を備えています。

毎月第3水曜日は
ブレインテック
オープンデー



きてね



図書館システム紹介



図書館装備用品展示



図書館関連グッズ展示



各種イベント開催

来て、見て、さわって！
東京・五反田ショールーム

予約
不要

図書館システム「情報館」を実際に操作できる！
そのほか図書館情報サイト「Jcross」主催イベントや
図書館関連製品の展示、体験会を開催

東京オフィスはちょっと違い…そんな方には
オンラインイベント

事前
予約

図書館システム「情報館」のここがおすすめ
製品の特長が分かるイベントを随時開催！
イベントの最新情報はウェブサイトをご覧ください



バックナンバーのご案内

ウェブサイトでも
Braintech Library Report Vol.1～8を公開しております。
製品情報 - 導入事例 <https://braintech.co.jp/products/>



お問い合わせはお気軽に

製品の無料トライアル、デモン
ストレーション、オンライン相談を
承っております。

ブレインテック・ライブラリー・リポート Vol.8

発行日 / 2023年10月1日

発行元 / 株式会社ブレインテック

〒141-0031 東京都品川区西五反田8-3-16 西五反田8丁目ビル7F

TEL.03-4330-3655 <https://braintech.co.jp/>